

実施年月

2024年08月20日

集計単位

全体

テンプレート

保育士テンプレート

表示

対象職種

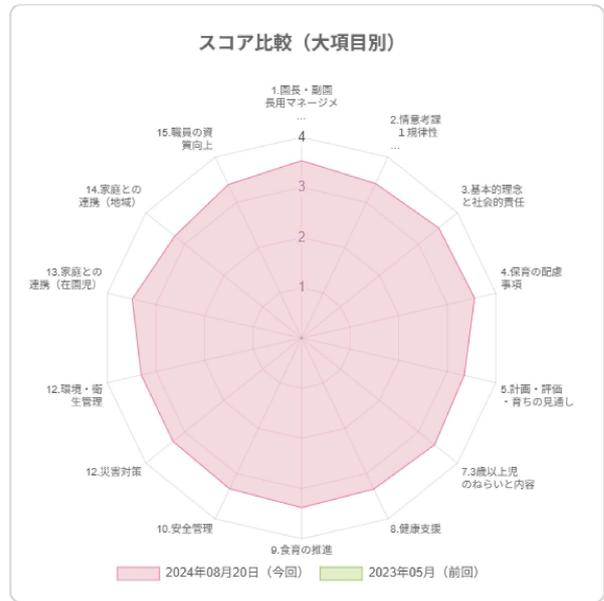
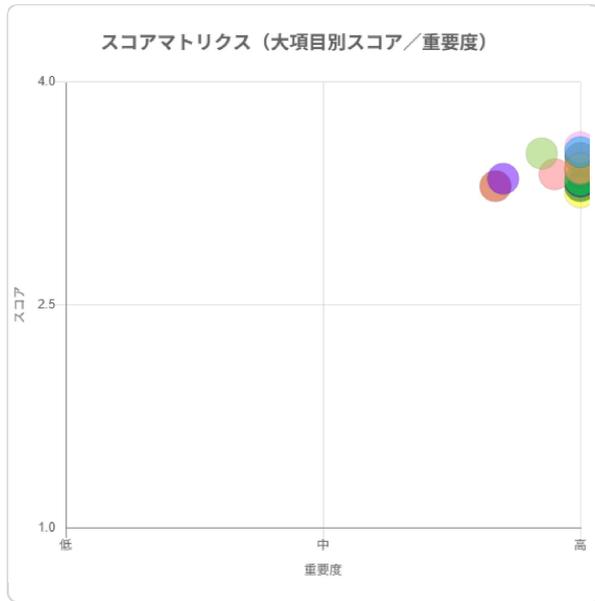
保育教諭

一時預かり職員

園長

送迎バスドライバー

スコアレポート 集計単位：全体 自己評価実施人数：6人



まとめ 大項目ごとのスコアランキング

ランク	項目	スコア	重要度	小項目の表示
1	4.保育の配慮事項	3.56	高	表示
2	1.園長・副園長用マネージメント	3.53	高	表示
3	3.基本的理念と社会的責任	3.52	高	表示
4	13.家庭との連携 (在園児)	3.49	高	表示
5	2.情意考課 1 規律性 1~5 2 責任性 6~10 3 協調性 11~15 4 積極性 16~20 5 利用者対応20~25	3.42	高	表示
6	7.3歳以上児のねらいと内容	3.41	高	表示
7	15.職員の資質向上	3.39	高	表示
8	9.食育の推進	3.38	高	表示
9	5.計画・評価・育ちの見通し	3.35	高	表示
10	8.健康支援	3.34	高	表示
11	10.安全管理	3.33	高	表示
12	12.災害対策	3.30	高	表示

13	12.環境・衛生管理	3.30	高	表示
14	14.家庭との連携（地域）	3.26	高	表示

【4.保育の配慮事項】の面では、各自が理想に近い形で実践できた実感があるようです。

園全体の様子を振り返った際、職員たちと同様に「理想に近い状態で実践できた」と感じられるようであれば、園として目指している目標と、職員の考えている理想のイメージが共有できており、とても良い状態であると言えます。

各職員に対しては出来る範囲でフィードバックの時間をとり、出来ていた点をいくつか具体的に挙げながら、現状の維持、そして今後のさらなる向上に向けてモチベーションを保つ時間がとれると良いでしょう。

しかし、もしも、園全体を振り返ってみると、園全体としては実現度が低かった、職員の振り返り結果との間に差異を感じる、という場合には、園の目標と、各職員のイメージがズレている可能性が高いです。

一度、各職員とコミュニケーションの機会をとり、目標の再確認をした上で、具体的な行動を示しながら「園として求める姿」を共有していく時間を持つことをおすすめします。

一方で

【14.家庭との連携（地域）】の面では、実践が難しい、もしくは実践できていないと感じる職員が多い傾向にあるため

各職員とのコミュニケーションをとる際に、【14.家庭との連携（地域）】の中で、具体的に難しさ・やりづらさを感じる点があるかを確認しながら一緒に解決策を考えていく時間がとれると良いでしょう。

また、もしも、園全体を振り返った時に【14.家庭との連携（地域）】が、他の項目に比べて実践レベルが高いようであれば、

同時に「園の求めるレベルに達していること」をフィードバックしながら、「誉める・認める・感謝する」言葉をしっかりと伝えることがおすすめです。

また、自己評価シートに「重要度」を設定することで、「強み」や「着手すべき課題」が整理され、わかりやすくなります。

※重要度の設定は「設定」>「自己評価の変更」より実施ができます。詳細は担当スタッフまでお問合せください。

閉じる

項目別スコア（小項目）

大項目選択

1.園長・副園長用マネージメント

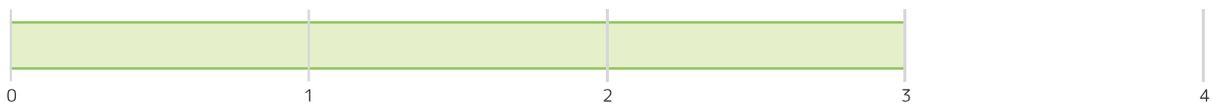
表示

1.園長・副園長用マネージメント

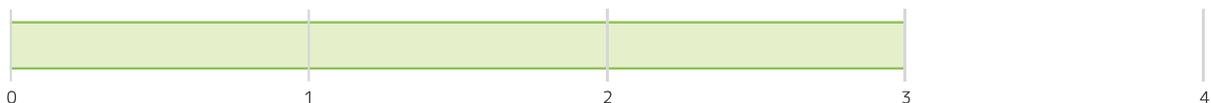
1.設置者の建学の精神に基づき園運営がなされている



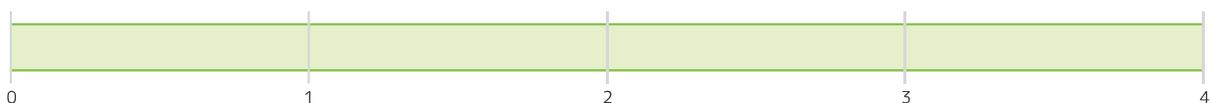
2.園の状況を踏まえた教育・保育目標・保育方針等が設定されている（組織の進むべく方向を示している）



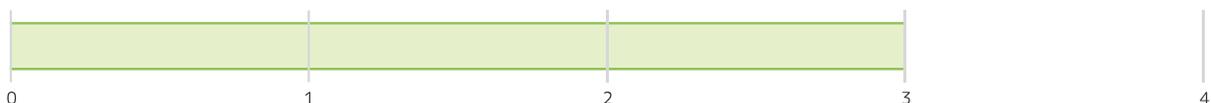
3.園の教育・保育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解がなされている



4.幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針について個々の職員が理解している



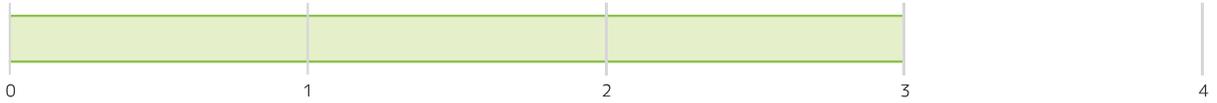
5.指導計画の立案と実施が適切になされている



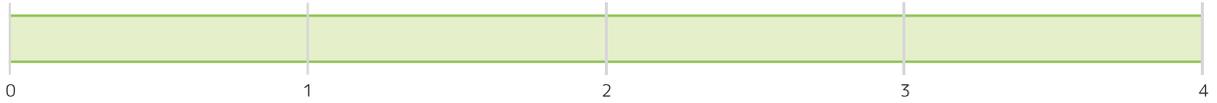
6.教育・保育要領、保育指針に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされている



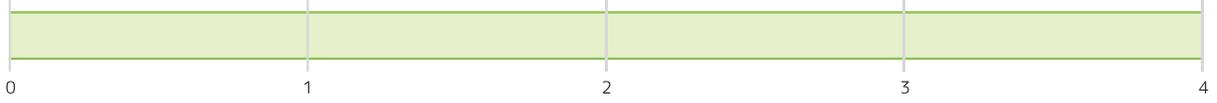
7.乳幼児の病気やけが等の情報提供が行われている



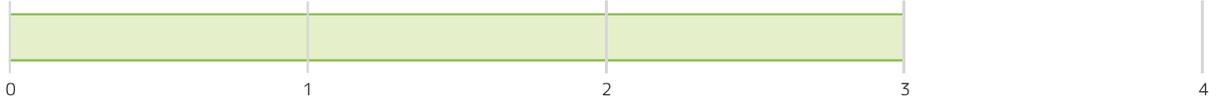
8.日常の健康観察や疾病予防のための取り組み、健康診断が実施されている



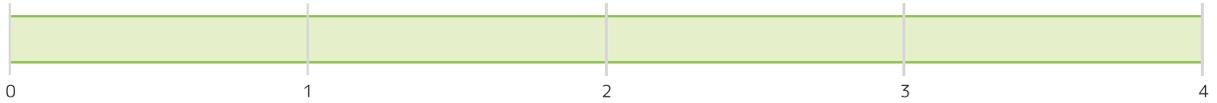
9.避難訓練等を通して、教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みをしている



10.特別な支援が必要な乳幼児の為に施設や学校との連携・交流が図れている



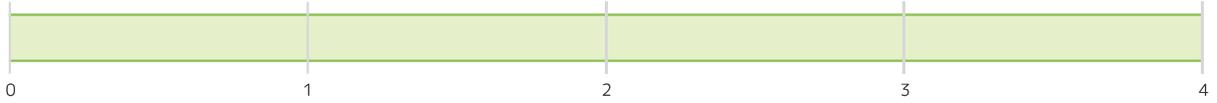
11.園と医療・福祉などの関係機関と連携が取れている



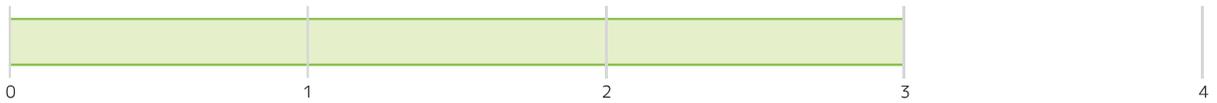
12.職員会議・ケース会議・食育会議等が定期的に行われている



13.園内研修が定期的に行われている



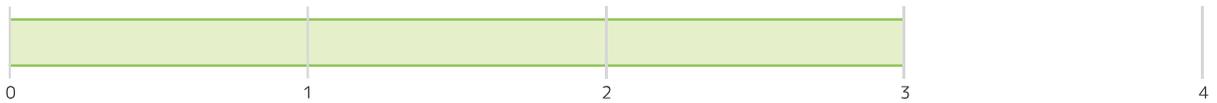
14.園外研修に参加している・参加させている。



15.職員の資質向上が図られている（職員の自己研鑽を後押し、支援している）



16.全職員、自己評価がなされている



17.園に関する様々な情報提供（園だより・保護者参加行事・sns・hp等々）を行っている



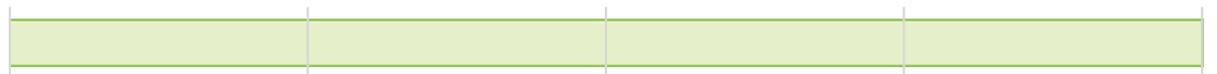
18.施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力が行われている



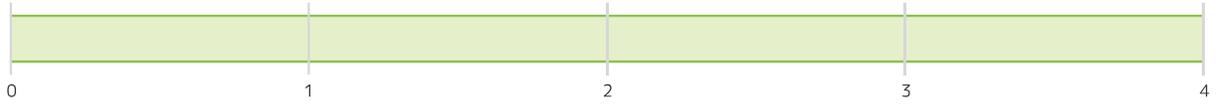
19.子育て支援が行われている（延長保育・一時預かり等）



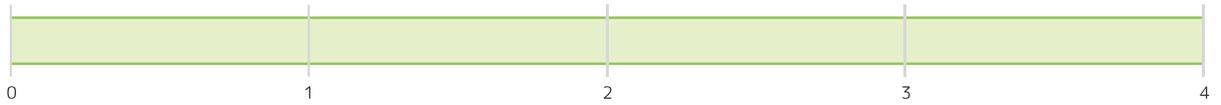
20.子どもたちが十分遊びこめるだけの玩具・遊具・絵本が整備されている



Q1.働きやすい労務管理ができている（指定休・有給休暇・休憩時間・残業ほぼ無・持ち帰り仕事無・産休育休制度の活用等） 3 4



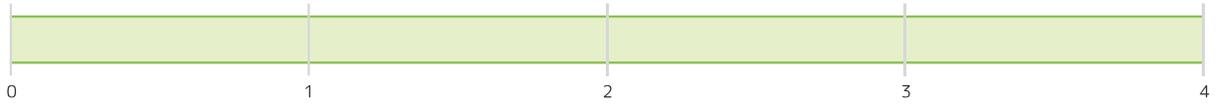
22.働きやすい職場となるよう安心・安全な環境になっている（職場への不適応や精神的ダメージへのサインを見逃していない）



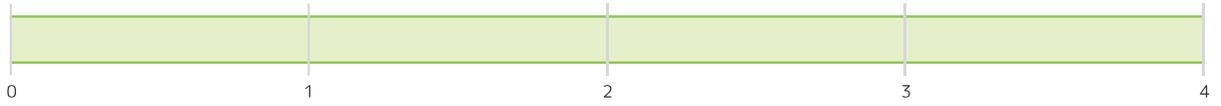
23.良好なコミュニケーション・良好な人間関係の構築が図られている



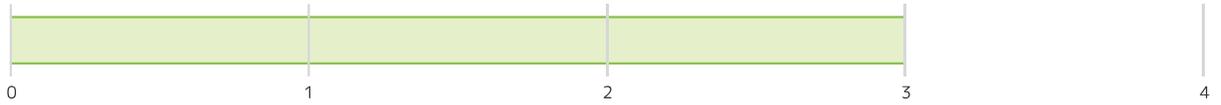
24.保護者支援ができている。保護者と良好な関係ができている。



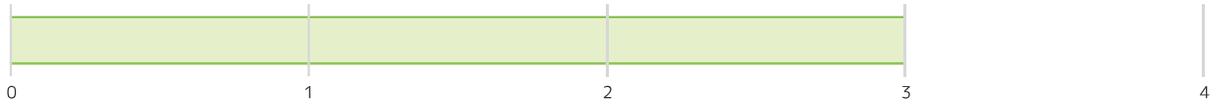
25.自らの職責を理解し、不断の自己研鑽を行っている



26.事業計画・事業報告・中期計画・長期計画が策定されている



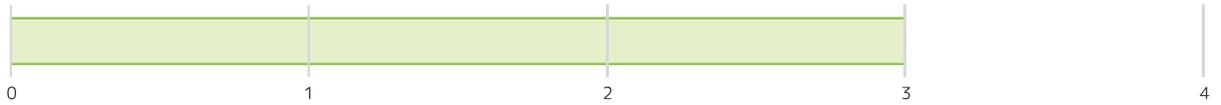
27.職員の強みを生かした配置・役割分担を行っている



28.施設の強み・弱みを認識し、強みを生かし弱みの改善に取り組んでいる



29.職員の個人目標行動計画に寄り添い、共に評価し今後の期待を本人に明示している



30.あたらしい制度や知識を常に更新するよう積極的に動いている

